

参院選 阪神間の学生50人に聞く

公示「知ってる」3割

経済政策や安全保障政策の是非を主な争点とする参院選が22日、公示された。改選数の兵庫選挙区には7人が立候補し、激戦が予想される。一方で、「18歳選挙権」が適用される初の国政選挙でもあり、若い有権者の動向にも注目が集まる。阪神間の若者は政治に関心を抱き、何を求めるのか。大学生ら50人に聞いた。(1面参照)

アンケートは22日に、幅広く、本番ムードが実施。選挙への関心の濃淡していない様子が有無を直接聞き、うかがえた。

男性27人、女性23人が、ただ参院選への関心から回答を得た。半数超の27人が「公示日」について、半数超の27人が「ある」と回答したのに対し、約3割に当たる16人、34人、19人と「分からない」と答えている。4人の合計が「知らない」と答えている。19人と「分からない」と答えている。19人と「分からない」と答えている。

私たちの注文、期待



関西学院大一年田大樹さん(19) 堺市 東京五輪に向けた国立競技場建設の白紙撤回を、税金が計画的に使われていない印象がある。それならば保育園をつくり、待機児童を減らすなど、社会保障を充実させてほしい。

19歳 皆が大学行けるよう



武庫川女子大短期大学部二年 濱畑友香さん(19) 大阪市 友達が薬学部に入居したのに授業料が高くて入学できなかった。頑張っても大学に行けないのはおかし。お金がなくて大学に行けるようにしてほしい。

19歳 安易な改憲やめて



関西学院大二年浦野平さん(19) 宝塚市 政治学を専攻している。戦後一貫して守り続けてきた憲法を安易に改正してほしくない。対外的な脅威は多いが、日本が戦争を巻き込まれるような政策は望まない。

22歳 次世代のこと考えて



武庫川女子大大学院福富美佳さん(22) 大阪市、写真中央 国の借金が増え、将来自分たちの年金がもたらせる心配。高齢者の投票率が高いから、今の政治家はお年寄りの政策を優先しがち。次世代のこと考えて。

18歳 政治家は誠意持って



大手前大一年沖祐弥さん(18) 神戸市 政治家に求めるのは、誠意や実行力のある人。前東京都知事の舛添氏が政治とカネの問題で辞任「ずるい」が見えた。誠意を持って政治向き合ってくれる候補に投票したい。

関心ある「思い投票行動に」

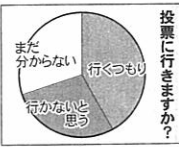
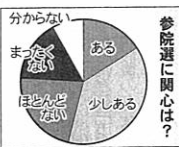
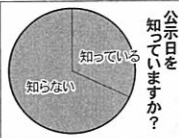
「関心がある」「思い投票行動に」と答えた人は、1票の重みはまた分らないけれど、初めて自分で投票したい。「経済を学んでおり、自分の思いを政治に興味がない」など答えた。就職活動で新聞やインターネットニュースを読むようになったことを挙げた学生もいた。

「関心がない・分らない」と答えた人の理由は、「一票で何かが変わる気がしない」「政治に興味がない」など答えた。

また、「政治を知らない」といった戸惑いもない自分が無責任に投票された。

「地」投票に行くつもり」と答えた。

「友達から吉村友理さん(19) 堺市は「友達から介護する側、される側になった時のことを考えた。今の制度で大丈夫だろうか」と不安



きょうから 期日前投票 阪神間では23日以降、最大26カ所为期日前投票が行われる。詳しい日時、各市町の選挙管理委員会のホームページで確認できる。

関西学院大一年の黒沢拓美さん(19) 神戸市灘区は「政治とカネ」に関する不祥事が相次ぐ事態に「政治家は税金の使い方をきちんと考えてほしい」と注文した。

(篠原拓真、尾藤央一、竜門和諒、山脇未菜 美)